

我が老を老とし、人の老に及ぼす

2008 JUN

vol. 34



社会福祉法人

ELDERS

年長者の里

URL : http://nenchousha.com E-mail : elders@nifty.com

発行者

芳賀 歳壽

編集者

笠井 理絵

住所

北九州市八幡東区大蔵3丁目2-1
TEL (093) 652-3939
FAX (093) 652-3999

新入職員辞令交付式

3月31日に今年度の年長者の里の新入職員辞令交付式が、協力会社の(株)エルダースサービスと合同で行われました。年長者の里に新たに加わった仲間7名、期待と不安でいっぱいの中、理事長や常務理事、先輩の言葉に熱心に耳を傾け、瞳をキラキラと輝かせて、社会人への一步を力強く踏み出す初々しい姿が印象的でした。



■芳賀理事長の挨拶及び祝辞

おはようございます。そして、入社おめでとう。私どもの仲間として、大歓迎致します。このように少子高齢化が定着し、その上、かつて日本が経験したことの無い人口減少の時代がすでに始まっています。そして、今や人生は90歳だといわれる時代となりました。日本には、90歳以上の方が、北九州の人口以上にいらっしゃいます。この北九州市は政令指定都市の中で、最も高齢化が進んでいる、高齢先進都市と言われております。元気なシニアが70歳までは働くということが当然の世の中になってきました。生きがいをもって元気に社会貢献する、そのことが、高齢者を更に元気づける素となっております。

まちのにぎわい、発展ということが言われます。今、北九州市にも随分と産業の誘致、企業の進出が行われております。ほとんどが製造業関係でございます。しかし、まちの元気、にぎわいには何といっても三次産業のサービス業関係、そしてまた私は敢えて四次産業と呼ぶのですが、福祉や教育関係、これが盛んにならないと、まちのにぎわいは取り戻せません。若者を呼び込み、高齢者を大切にす都市づくりが必要です。

■年長者の里の経営理念

我が法人は、先程、全員で唱和しましたように、「義は利に優る」つまり、サービスが先だということを、基本にしております。このことは先に義があって後に利するものは栄えるという、荀子の言葉、

「先義後利」という漢文からとっております。この義とは公共のために尽くす心を意味しております。論語の一説である「我が老を老とし、人の老に及ぼす」を実践していただきたいのです。

その上で、職員のコットーは、「挨拶・笑顔・敬語」の3つとなっております。＜挨拶・敬語＞は割合、気をつければできます。問題は＜笑顔＞、これが非常に難しい。でもこれは意識してでも笑っていただきたい。そうすれば相手は自分を映す鏡ですから、きっと相手にも笑顔で接してもらえます。特に我々の携わる高齢福祉事業では、お年寄りの笑顔で我々がどんなにお力をいただくかしのれないわけで、必ず我々も笑顔で報いなければならないのであります。

■職場で自分磨きを!

今後、皆さんが職場で各々の役割を存分に果たすことで、まずご自分自身を磨いていただきたい。技術的にも人間的にも魅力を増していただきたい。そうすれば、あなた方自身の価値が上がっていきます。値打ちが付いてきます。値打ちをつけるために是非業務でまず頑張ってください。そのことが社会への貢献に繋がると信じています。どうぞ、新しい職場でストレスも多いことかも知れませんが、特に人間関係でストレスは必ず起こります。それもこれも自分の人間的な価値を上げるためです。間違いなく乗り切ることで価値も上がり、力も付いてきます。元気に頑張ってください。

(理事長挨拶より一部抜粋)

職員
歓迎の辞

徳永裕子さん

正寿園 副主任
介護職員

新入職員の皆さん、入社おめでとうございます。皆さんの入社を心から歓迎いたします。私は8年前、今の皆さんと同じように緊張の面持ちで、この入社式に臨んでいました。これから始まる仕事への期待と不安、社会人となることへの責任、皆さんも同じ思いでおられることと思います。あれから8年の間、私はたくさんの方と出会い、そして別れの中で、貴重な

経験を数々学んで参りました。

また私自身、介護サービスのプロになれるよう社会福祉士、介護福祉士、ケアマネジャーの資格を修得しました。皆さんも資格の取得を目指して頂きたいです。

これから皆さんはご高齢のご利用者の方と接することとなりますが、その時に、その方が今まで過ごされてきた人生や、生活があることを理解して頂きたいと思っております。私達は、ご利用者の方が笑顔で自分らしい生活を送れるための杖のような存在になりたいと、そう願っています。

また、今後皆さんは先輩の職員から、色々なことを学ばれると思いますが、逆に皆さんからの新しい風を吹き込んで欲しいと思っております。そしてその新しい風を加え、私たちと一緒にこの年長者の里が日本一の高齢者施設になるよう、頑張っていきたいと思います。



平成20年度 新入職員辞令交付式合同集合写真

新入社員
代表挨拶

鬼塚 恵さん

正寿園 介護職員



鬼塚さんが介護職を目指すきっかけとなったのは、吹奏楽部のボランティア。「先輩の皆様のご指導、ご助言によって一日も早く、一人前の職員として介護サービスのプロになれるよう最大限の努力をし、ご利用者様に私と出会えて良かったと感じて頂けるようになります」と抱負を語った。



いきいき広場

— Let's enjoy life in elder's hometown —



サクラサクラ〜♪

ケアハウス八幡 お花見バスハイク

4月4日、ケアハウス八幡では、入居者の皆さん28名のご参加で、お花見バスハイクを実施。お天気にも恵まれ、桜も満開の絶好のお花見日和でした。

まずバスは、祇園町の桜通りを通過し、高見神社の桜トンネルの中をくぐり、目的地の中央公園へ。金比羅池の畔に降り立った時にはお昼時。見晴らしの良い場所に各々腰掛けられ、春が沢山詰まったお

弁当を召し上がられて、自然と皆さんの顔は桜色の笑顔になり、賑やかな昼食タイムとなりました。

帰りの車中も、まだまだ窓の外を眺めている皆さん。そこへ運転手さんより粋なプレゼント。着いた所は清田町の住宅地。住宅地に沿って風情あるソメイヨシノが並び、とても美しく咲き乱れており、皆さんも歓声を上げて喜ばれていました。

帰られてからも「また行きたいね」「満開でよかったあ」「お弁当、おいしかったわ」などと、会話が弾み、もう来年に向けての期待が弾んでいるようでした。



穴生便り ①

いきいき倶楽部 全開中!

穴生デイサービスセンター

穴生デイサービスセンター(八幡西区鉄竜1丁目定員40名)では、平成19年度から北九州市の委託を受けて、八幡西区にお住まいの特定高齢者(要介護認定を受けていない方等)を対象に、通所型介護予防事業を行っています。

この事業は、厚生労働省が推進している介護予防事業の柱で、一定期間、計画的なプログラムに沿って、下肢筋力を中心とした運動機能の向上と心身の健康促進を図ることを目的としています。

「いきいき倶楽部」と名付けたこの教室は、1回90分で、約2か月半にわたり合計22回開催されます。専任のスタッフ(作業療法士・介護福祉士・看護師等)がストレッチや各種の体操を参加者一人ひ



とりとコミュニケーションを取りながら、楽しく行っています。他にも、管理栄養士・ケアマネジャー・言語聴覚士などによるミニ健康講座もあり、自宅暮らしのお役立ち情報をお届けしています。

この教室には、昨年度15名の方が参加され、体力づくりだけではなく、お互いの親睦や交流が深められました。3回目となる今回も、70代から90代の7名の皆さんが、週2回筋力アップに励まれています。

八幡西区に生まれて丸3年。穴生デイサービスセンターは、介護予防と介護サービスを通じて、これからも地域の高齢者の皆様の生活を支えてゆきたいと思っています。



わがまちの地域福祉と福祉経営 15

〜「縮」に打ち勝つ社会へ〜

西日本工業大学 工学部 環境建設学科 教授 皆川 重男



■はじめに

体が縮む時には時には、鋭い痛みを伴うと聞いたことがあります。デフレーションは、経済が縮む現象で生活に痛みが伴います。一方では、原油が高騰し、1バレル・120ドル(4月20日現在)に近づき、サブプライム問題とドル安によって景気の先行きは不透明です。また、国内では、一年間に生まれる子供の数を亡くなる人の数が上回る人口の自然減が明らかになってきました。北九州市も例外ではありません。スタグフレーション(不景気悪化の中の物価上昇)の恐れも浸透中です。北九州市を背景に縮む社会を脱皮し、確かな生活の創造を考えてみます。

■収益力の低下は過剰品質

神戸大学大学院の石井教授は、「海外の有力企業が30年以上も20%前後の高い収益性を確保しているのに対し、日本企業は40年前の企業平均6%をピークに、年々減り続け現在では3%前後で推移している」と指摘しています。つまり、売上の割には儲からない体質で、その理由は、ハーバード大学のクリステン教授の「過剰品質」の概念で説明できると言います。製品の性能・品質に関する消費者の関心は、販売された後、一時は大きくなります。しかし、その後、品質・技術は、私たちの期待以上に加速度的に改善されますが、その時には余り反応しなくな

るといのです。

確かに、私自身も最近の携帯電話の多様な機能について行くことが出来ず、電話とメールだけを活用しているのが現状です。

■本物の技術力を地域に

日本が世界に先駆けて開発したカーナビゲーションは、高品質ですが10万円以上するので海外では売れないそうです。オランダの企業が開発した画像制度の悪いカーナビは、3~5万円でスーパーの目玉商品として売られており、よく売れているのだそうです。こつこつ開発してきた技術力が、日本の製造業の強さであることには疑いの余地はありません。少子高齢化が社会構造となった国内市場だけでなく、拡大する大きな海外市場に挑戦する「気概」を持ちたいと思います。

■北九州市の資源を活用

北九州市には、一千億円を投資したアジアに誇る響灘コンテナターミナルが若松にあります。現状の厳しさに立ち向かうマインドが、今の日本にも北九州市にも必要です。これまでの投資を再評価し、行政はグローバルにアンテナを張り巡らし、固定化した規制を見直し諸外国の認証基準をクリアする製品を開発する、制度的支援の展開が求められます。行政と企業が一体となった世界目線で産業を活性化し、市民の生き生きとした生活を実現したいと切望しています。

池上さん いつも笑顔をありがとう!

本機関紙「年長者の里」の27号から33号を編集しておりました、本部広報室の池上謙吾さんが4月いっぱいでご退職されました。

退職の日に、在宅介護支援センターの皆さんが、素敵な演出(右写真)により池上さんへの感謝の気持ちを込めて送り出してくれました。いつも笑顔で、職場の皆を癒してくれていた池上さん。本当にお疲れ様でした。





耳鼻咽喉科とは？



年長者の里 たつのおとしごクリニック
耳鼻咽喉科 森尾 崇

平成19年8月より、クリニックに耳鼻咽喉科が新設されました。担当の森尾先生をご紹介します！

昭和44年5月9日生まれ(38歳)
産業医科大学出身(平成7年卒)
☆出身：門司港
☆特技：バイオリン演奏
☆趣味：ヨット



■耳鼻咽喉科領域とは？

頸から上の眼、歯、脳以外の全ての領域を担当します。それ故に、眼科、歯科、脳神経外科、神経内科と重複する疾患を診ることも多々あります。特に脳神経領域と関係が深く、従来の神経内科診療にもお役立ちできると思います。

<耳疾患>

(中耳炎・外耳炎等の炎症性疾患、難聴、めまい等)

顕微鏡などを用い耳疾患の治療を行っています。また、治療にて改善が望める難聴もあります。「歳だから…」「補聴器はいやだ…」などと諦めることなく受診して下さい。診察・聴こえの検査を行い、適切な方法を選択します。例えば補聴器しか選択法がない場合でも、「補聴器相談医」が御相談に応じアドバイスいたします。めまいも内耳性めまい、中枢性めまい(脳から)、血圧性めまい、頸性めまい等、多岐にわたります。耳鼻咽喉科で診察し、必要によってはMRI検査を行い、診断・治療いたします。

<鼻疾患>

以前は慢性副鼻腔炎(いわゆる蓄膿症)が多く見られていましたが、最近ではアレルギー性鼻炎(花粉症を含む)が増えてきています。鼻内所見、レントゲン写真等から診断します。鼻処置、内服治療、ネブライザー(吸入器)等の治療が有効です。

花粉症治療については花粉飛散

前からの治療が推奨されており、スギ花粉は2月～5月に飛散しますので、その前からの治療を開始すれば、症状が軽くなると思われます。また飛散期間の治療も重要です。

<口腔・咽頭・喉頭疾患>

通常、鏡を用い病変を観察しますが、経鼻内視鏡を用い、ポリープや痛などが無いかに詳細に観察することもできます。口内炎、扁桃炎、咽頭炎などの炎症性疾患の治療を主に行います。また味覚異常、口腔内乾燥症なども治療しています。

<気管・食道疾患>

頑固に慢性的な咳が続く場合、肺疾患の他に気管支喘息、慢性気管支炎、副鼻腔気管支症候群などの疾患が原因の場合があります。また、近年、逆流性食道炎(胃酸の食道への逆流)も増えており、長く続く咽喉症状・咳の原因となっていることがあります。経鼻内視鏡による観察が確定診断に役立ちます。

■病診連携について

当クリニックでは、入院・手術等が必要な場合は、新日鐵八幡記念病院、北九州市立八幡病院、産業医科大学病院等の関連病院へ御紹介しております。

以上、耳鼻咽喉科の診察は多岐にわたります。頸から上に不調を感じたら是非、「たつのおとしごクリニック」へ御相談下さい。

韓国から施設見学来訪!



韓国では2008年から『長期療養保険制度』(韓国版介護保険制度)が導入されます。この導入を前に、我が国の介護保険制度の現状や課題を研修するため、2007年3月には、果川市議会福祉委員の皆さん、5月には、春海大学校、福祉学科専攻の皆さん、7月には、建陽大学校大学院の皆さん、11月にはソウル医療院高齢者医療研究員の皆さんと韓国から多くの方々が見学に来られました。

施設概要のほか、我が国の介護保険制度の現状・課題、介護施設の運営や展望などについて、『年長者の里』の芳賀常務理事が丁寧に説明、視察に来られた皆さんは、今後韓国の福祉の中心となつての活躍を目指しておられる方々で、どなたも熱心にメモを取っておられました。また、施設運営の課題などについて次々に質問もされていました。

視察に来られた皆さんはどなたも、『年長者の里』には、老健施設・福祉施設、デイサービス等、1箇所が高齢者福祉施設の全てが揃っているので非常に参考になります。韓国での高齢者福祉に役立てていきたいです。」と母国での福祉への取り組みに意気込んでおられました。



建陽大学校大学院の皆さん



春海大学校の皆さん

平成19年度送迎車両助成金交付

(財)中央競馬馬主社会福祉財団 (社)九州馬主協会

このほど、標記財団と協会の19年度助成事業によるご支援をいただき、穴生デイサービスセンターにピカピカの送迎車両が届きました。

開設3年を迎える当センターでは、毎日30名以上のお客様が八幡西区はもちろん、近隣の地域からもお見えになり、送迎車両の不足に頭を悩ませていたところでした。

助成車両は、スロープタイプの車椅子仕様車(トヨタラクティスウエルキャブ・5人乗)で、機動性に優れ、送迎能力の向上にさっそく力を発揮しています。

この紙面を借りて、財団・協会はじめ、関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。



あの日・あの頃

— 昭和28年6月28日 —

板櫃川が氾濫!!

「酒蔵に水が入った」と知らせがあり、急いで酒蔵の水を掻き出していたら、それまで川の水をせき止めていた堰が崩れたらしく、どっと水嵩が増えましてね。あっという間に畳の上30cm位まで水がきました。当時の酒樽は木で作

られていて、水にさらわれてゴロゴロ流されてしまいました。河内貯水池の堰堤が決壊したかと思いました。」と、溝上酒造(銘柄:天心)の溝上米吉社長は、当時の様子を語る。この西日本大水害は、九州北部から中部にかけて累加雨量が1,000mmを超えた所もあり、死者・行方不明者999名など、九州で最も悲惨な水害であった。



大水害の日の溝上酒造と景勝橋を超える濁流



現在の溝上酒造と景勝橋の様子

新入職員を紹介します はじめまして♪気軽にお声掛け下さい☆

串間加奈子さん (大蔵園・栄養士)


「笑顔になるご飯」を私は目指しています。見て・嗅いで・舌で、「おいしそう」、「おいしい」と感じて頂ける食事を提供していきたいと思っています。

『食』は生きていく上では欠かせないものです。ですから、一番の物を提供させて頂きたいと思っています。ご利用者の皆様に、おいしいと言って頂ける様、食事を楽しみにして頂けるように美しい食事を提供できる様、頑張ります。笑顔のご飯を目指し、日々頑張っていきたいです。



黒木結花さん (正寿園・介護職員)

はじめまして。正寿園に配属されました黒木結花です。実家は福岡市内なので、3月から北九州で一人暮らしをしています。北九州で生活するのは初めてなので、休日は散歩がてら家の周りを散策しています。知らない土地をふらふら歩くことが好きです。あと、私は動物が好きです。実家では、フェレットとインコを飼っています。フェレットにはいつも噛まれてしまうので…落ち込みます。これから、一生懸命頑張ろうと思うので、よろしくお願いします。



深嶋祥子さん (正寿園・介護職員)

こんにちは。正寿園に配属になりました深嶋祥子と申します。今、笑顔で皆さんに挨拶できるように日々努力しています。

私の好きな言葉は、「ありがとう」です。日々の支援を通して、ご利用者の方、ご家族の方に心から喜んで頂き、「ありがとう」と言ってもらえるよう努力していきたいと思っています。

その為にも早く仕事を覚えられよう毎日頑張りますので、よろしくお願いします。




鬼塚 恵さん (穴生デイサービス・介護職員)

この度、穴生デイサービスセンターで働くことになりました、鬼塚恵です。

私の家は、中華料理店です。父は職人堅気の頑固親父で、母は最高の笑顔の持ち主です。こんな両親に厳しく明るく育てられた私はいつも元気です。

家の手伝いをずっとしていたので、接客は生活の一部で楽しみです。


これから、私の笑顔や元気や言葉で、多くのご利用者の方が笑顔になって下さるように頑張ります。



神代祥太さん (正寿園デイケア・作業療法士)

初めまして！4月1日より作業療法士として勤務させて頂いています神代(かみしろ)と申します。無事に国家試験も合格し、ヤル気満々で日々頑張っているところです。僕の趣味は、釣りやアウトドアで、天気の良い日に公園や川、海に遊びに行くことです。自然と触れ合うことが大好きなので、ご利用者の方々と一緒に自然を楽しみながら、皆様の機能回復を目指していきたいと考えています。

まだまだ未熟者ですが、皆様よろしくお願いします！



森本 純さん (大蔵園・介護職員)

初めまして。ただ今、先輩のご指導の下、大蔵園で頑張っています。

私は大好きな両親と愛犬サブと一緒に直方に住んでいます。最近父は趣味で畑仕事を始めました。はまり過ぎてつい軽トラックまで買いました。本職は設計士なんですけどね…。いつも明るい母は保母さんをしています。そんな両親と14歳になる犬と賑やかな毎日を過ごしています。

今は新入職員で覚えることに必死ですが、相手への思いやりの気持ちを忘れず頑張っていきます。



西川 浩さん (正寿園・作業療法士)

初めまして。今年の4月から正寿園で働くことになりました、作業療法士の西川です。

僕の趣味は、飲食店を食べ歩くことです。最近は特にラーメンに凝っていて、暇があれば、美味しいラーメン屋さんを探したいと思っています。

僕は一度、社会人を経験していますが、リハビリの仕事をするのは初めてです。その為、日々勉強だとは思いますが、ご利用者の方々から元気をいただき、やる気いっぱい頑張ります。



編集後記

年長者の里内で季節を感じる木々が観られます。大蔵園入り口前では5月初旬にきれいな藤の花が風にそよそよと揺れていました。

また、西峰園の前の日向ぼこの石碑横にさくらんぼの樹があります。今年は

沢山の実がなり、日に日に赤く色づいて、5月の中旬には食べ頃を迎えました。そんな中、ご利用者の皆様とスタッフ、理事長と一緒にさくらんぼ狩りを行いました。

なか交流する機会も少ないですが、見かけたら是非、お気軽にお声を掛けて下さい。

広報面では、ご利用者様に楽しんで頂け、年長者の里と地域を繋ぐような機関紙の発行を心がけたいと思っています。その他、オンブズマンの皆様と共に、年長者の里全体のサービス及びご利用者の生活環境の向上に繋がる活動を行っていきたく思っております。また、年長者の里周辺の地域の方々との連携を深め、地域に根ざした施設となるよう精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

◆本誌編集者より
笠井理絵(本部：広報室長・秘書室長)
はじめまして。3月末より、こちらで広報関係の仕事と理事長秘書としております。事務的な仕事が多く、ご利用者の皆様、及び職員の方々とはなか

